

Quarterly Report

MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社

広報・IR部 〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-3-7
TEL: 03-6202-5270(代表)
www.ms-ad-hd.com

立ちどまらない保険。

MS&AD
INSURANCE GROUP

2013年7月31日

1. 2013年3月期 決算概況について

当社は、5月20日に平成25年3月期における決算を発表しました。平成24年度の正味収入保険料は、2兆6,394億円と前期比3.1%の増収となりました。要因として、上半期のエコカー補助金制度による新車販売台数の増加や、成長分野である生保事業や海外事業の好調が挙げられます。当期純利益は、前期比2,530億円増の836億円となり、タイ洪水等の影響を受けた平成23年度決算からのV字回復を果たしました。

(単位: 億円)

	平成24年3月期	平成25年3月期	比較増減	増減率
正味収入保険料	25,588	26,394	805	3.1%
経常利益	▲962	1,503	2,465	-
当期純利益	▲1,694	836	2,530	-

2. 2013年4～6月の三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の営業概況(単純合算)

*速報ベース、傷害・一般計には長期医療を含む

第1四半期は、主力の自動車保険や火災保険が引き続き好調であり、一般計で3.6%の増収となりました。

(金額単位: 百万円)

種目名	第1四半期(4～6月)	
	収入保険料	増収率
自動車	329,497	2.2%
自賠責	87,498	13.5%
火災	108,440	6.5%
傷害	52,929	▲0.5%
新種	89,610	▲1.1%
海上	32,575	5.4%
一般計	700,549	3.6%

3. 主なニュースリリース(2013年4月～6月) ※カッコ内はニュースリリースの日付

(1) MS&ADホールディングス

○中国四川省地震災害に対する義援金について(6月24日)

当社は、4月に中国四川省で発生した地震によって被害を受けられた方々の支援を目的に、グループ各社の社員から義援金を募り、延べ1,547名の社員から約166万円の義援金が集まりました。また、災害時義援金マッチングギフト制度により、社員からの義援金額に対し同額を会社が拠出することで、総額約333万円を現地の寄付窓口などへ寄贈しました。

(2) グループ各社

①国内事業

○「苦情対応マネジメントシステムの国際規格『ISO10002』」への

自己適合宣言について（4月1日）

三井住友海上プライマリー生命は、4月1日に、国際規格「ISO10002」（品質マネジメント—顧客満足—組織における苦情対応のための指針）に適合した苦情対応マネジメントシステムを構築し、適切な運用を行っていくことを宣言しました。同社では、今後も苦情等を含むお客さまの声をしっかりと受け止め、迅速・適切・真摯に対応していくとともに、お客さまの声を業務改善に活かし、企業品質とお客さま満足度の向上のための取り組みを推進していきます。

○商品ブランド“TOUGH”をモチーフとしたオリジナルソング完成！（4月9日）

あいおいニッセイ同和損保は、商品ブランド“TOUGH（タフ）”をモチーフとしたオリジナルソング（タフミュージック）を作成しました。同社の無料の会員制インターネットサービスである「ADタフクラブ」および「ADタフクラブ（体験版）」からダウンロードいただけます。1曲のダウンロードにつき3円が、同社から「福島こどもみらい基金」（福島の子どもの将来に備える医療基金）への寄付となります。

○スマートフォン利用者向けサービス「スマ保」が

「MCPC award 2013グランプリ（大賞）、総務大臣賞」を受賞（4月22日）

三井住友海上は、4月19日に、モバイルシステムの導入によって顕著な成果を上げた事例を表彰する「MCPC award 2013」において、「グランプリ（大賞）」および「総務大臣賞」を受賞しました。今回の受賞は、2012年8月から同社が提供を開始したスマートフォンアプリ「スマ保」のサービス内容が評価されたもので、損害保険会社としては初めての受賞となります。

○お客さまアンケートご回答者への謝礼を拡充！

～『お客さま満足度No.1損保』の実現に向けて～（4月30日）

あいおいニッセイ同和損保は、「お客さま満足度No.1損保」の実現に向けて、保険の契約をいただいたお客さまを対象に、パソコンや携帯電話で回答をいただく「Web方式」のアンケートを実施しています。アンケートにご回答いただいたお客さまには抽選で図書カードを進呈していますが、2013年5月抽選分より、進呈する謝礼に東北名産品を追加しました。

○「フード&アグリビジネス総合補償プラン」の販売開始について（4月30日）

三井住友海上は、5月1日から、食品・農業関連ビジネスを取り巻くリスクについて補償する「フード&アグリビジネス総合補償プラン」の販売を開始しました。本プランは、経営の多角化や大型化が進む食品・農業関連ビジネスを取り巻くリスクに対して、業種や事業内容ごとに必要な補償を合理的に手配できるようパッケージ化したものです。今後も食品・農業関連ビジネスの発展を後押しする商品開発を積極的に行っていきます。

○～延べ利用者200万人突破！インターネット専用海外旅行保険～

「ネットde保険@とらべる」のスマートフォン版を開設（5月1日）

三井住友海上は、インターネット専用海外旅行保険「ネットde保険@とらべる」のスマートフォン版を開設し、4月22日からサービスを開始しました。「ネットde保険@とらべる」は、インターネットで契約が完結できる簡便さと、低廉な保険料などを特長とする海外旅行保険で、利用者は、2006年の発売開始から延べ200万人を超えました。スマートフォン版の開設により、お客さまの端末に合わせて最適な画面を表示することができるようになります。

○公益社団法人日本脳卒中協会から感謝状授与

～共同事業「脳卒中セミナー」参加者が累計1万人を突破～（5月22日）

三井住友海上あいおい生命では、2010年度から、社会貢献活動の一環として、脳卒中に関する啓発活動「脳卒中セミナー」を行っています。同セミナーの開催実績は、2012年度末時点で計105回にのぼり、参加者数は累計10,600名となりました。これらの実績が認められ、5月18日に公益社団法人日本脳卒中協会から感謝状を授与しました。

○新商品「たのしみ、ずっと」の販売開始について（5月24日）

三井住友海上プライマリー生命は、日本円よりも比較的高い利率で運用できる「外貨建て運用」の終身保険に、「定期支払金」と「死亡保障充実」機能を備えた終身保険「たのしみ、ずっと」の販売を開始しました。ふえた分はご自身で使い、将来に備えてしっかりのこしたいというお客さまのニーズにお応えする商品です。

○2012年度社会貢献活動結果について（5月24日）

三井住友海上あいおい生命は、5月22日に、認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを 日本委員会（JCV）」へポリオワクチン14万8千人相当分の寄付を行いました。ワクチンは、ミャンマー、ラオス、ブータン、バヌアツの子どもたちに届けられ、ポリオやはしかなどの感染症予防に役立っています。

○中堅・中小企業向け「ビジネスマッチング」支援サービスを開始（5月27日）

三井住友海上は、中堅・中小企業のお客さまを対象に、企業間の取引を支援する「ビジネスマッチング」支援サービスを開始しました。本サービスは、新たに開設するビジネスマッチングサイト（HP）の中で、商品・サービスなどを「売りたい、提供したいお客さま」と、「買いたい、探したいお客さま」を結びつけることにより、企業の新規ビジネスを支援するものです。企業のニーズに合わせた取引先を紹介することで、お客さまの事業拡大を支援し、今後の産業の発展に貢献します。

○2012年度の収集ベルマークを東日本大震災の被災地域小中学校に寄贈（5月28日）

あいおいニッセイ同和損保は、損害保険会社で唯一のベルマーク運動への協賛企業として、ベルマークの収集活動を推進しています。2012年度に収集したベルマークを、昨年度に引き続き、東日本大震災の被災地域の小中学校に寄贈しました。今後もベルマーク運動の輪を広げ、継続的な被災地の復興支援に取り組めます。

○「スマ保」の新サービス開始について（6月10日）

三井住友海上は、2013年8月から、スマートフォンアプリ「スマ保」の第2弾として、新サービスの提供を開始します。「スマ保」第2弾では、新たに、全国自治体が指定する避難所等を表示する「災害時ナビ」、海外旅行で役立つ情報をまとめた「海外旅行ナビ」のサービスを追加するほか、これまで提供してきた自動車の『「運転力」診断』の機能を大幅に拡充し、運転前の音声アドバイスや、悪天候時に運転注意情報を自動配信する機能も搭載しています。

○窓販の現場に直結した代理店向けマネジメント・リーダーシップスキル研修

『プライマリー生命 インバケット研修』を開発（6月14日）

三井住友海上プライマリー生命は、「組織スキル（マネジメント・リーダー領域）」の研鑽を望む代理店の声に応えるため、株式会社インバケット研究所と提携し、『プライマリー生命 インバケット研修』を開発しました。研修では、金融機関の環境と実務にフォーカスした独自の演習プログラムの中で、マネジメントやリーダーシップに必要な10個のスキルを体系的かつ実践的に修得していきます。

○～安心・安全な自転車生活を支援～

東京都の条例を踏まえた自転車事故の防止活動を開始（6月27日）

三井住友海上は、7月1日の「東京都自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」の施行に合わせて、新たに、「自転車事故の未然防止」と「自転車保険の加入促進」を目的とする啓発活動を展開しています。自転車保険の重要性を多くの方に知っていただくため、専用のホームページを立ち上げたほか、安心・安全な自転車生活を送るための情報をまとめた冊子を東京都下の市区町村に寄贈しました。

○UCDAアワード2013（情報の伝わりやすさ賞）を受賞（6月28日）

三井住友海上あいおい生命は、一般社団法人ユニバーサル コミュニケーションデザイン協会が主催する「UCDAアワード2013」の生命保険告知書部門において、UCDAアワード2013（情報の伝わりやすさ賞）を受賞しました。同社では、2012年7月より関係5部門からなるプロジェクトを組成し、「より正しい告知の推進」を目的に、顧客心理の仮説に基づいたレイアウト等の見直しや各種表現の工夫、ユニバーサルデザインの採用など多くの改善を実施し、最優秀賞の受賞に至りました。

②海外事業

○インド現地法人が、“総合的に最も優れている保険会社

Best Performing Insurance Company Award”を受賞（4月10日）

三井住友海上のインド現地法人であるチョラマンダラムMSジェネラル保険会社は、貧困世帯を対象とした州政府医療保険「RSBY（※）」の保険金支払対応や普及活動等において、総合的に最も優れている保険会社に贈られる「Best Performing Insurance Company Award 2012」を受賞しました。今回の受賞は、2011年、2012年の“Best Claims Settlement Award”受賞に続くものであり、RSBYに関する賞を3年連続受賞した企業は、チョラMS社がインド保険業界において初めてとなります。※RSBY：ヒンドゥー語で「政府医療保障制度」の略

○台湾現地法人がCSRアワード“教育推進部門模範賞”を受賞（5月17日）

三井住友海上の台湾現地法人である明台産物保険（股）公司（以下、明台社）は、現地の有力ビジネス誌「遠見雑誌」が主催する「第9回企業社会責任賞（CSRアワード）」において、“教育推進部門模範賞”を受賞しました。今回の受賞は、明台社がCSR活動の一環として取り組んでいる小学校向けの安全推進活動が高く評価されたもので、日系企業ならびに損害保険会社の受賞は、明台社が唯一となります。

③リスク関連事業

○日系企業初、タイにリスクマネジメント専門会社を設立（4月22日）

インターリスク総研は、タイ・バンコク市に子会社を設立し、5月から営業を開始しました。タイでのRM専門会社の設立は、日系企業としては初となります。ASEAN地域では、タイ洪水を契機に、自然災害への対策や事業継続計画の作成・見直しを進める企業が増えていることから、同地域における事業体制の強化とより高品質なRMサービスの提供を目的としています。新会社の設立により、MS&ADインシュアランスグループのRMサービスは、日本（インターリスク総研）、シンガポール（インターリスク・アジア）、上海（インターリスク上海）、インド（チョラMSリスクサービス）を含む、5拠点体制となりました。

○～東日本大震災から学ぶ～

ハンドブック「子どもを地震・津波から守る知恵」を発行（5月8日）

インターリスク総研、三井住友海上およびあいおいニッセイ同和損保は、ハンドブック「子どもを地震・津波から守る知恵 ～東日本大震災から学ぶ～」を発行し、東北地方を中心に配布しました。本冊子では、インターリスク総研が宮城県内の保育・児童施設で開催したワークショップと、小学生以下の子どもを持つ保護者の方々を対象に実施したアンケート調査の結果を踏まえて、保育・児童施設や家庭における地震・津波対策についてわかりやすくまとめています。

④環境・社会貢献活動・スポーツ

○早稲田大学商学部にて提携講座を開講（4月10日）

あいおいニッセイ同和損保とMS&AD基礎研究所は、4月11日から、早稲田大学商学部にて「新時代の保険事業ーグローバルスタンダードと少子高齢社会を迎えてー」をテーマとする提携講座を開講しました。本講座は2007年から寄附講座として開講しており、今回で7年目となります。急速なグローバル化や高齢化の進展への対応等、保険事業の大きな変革期に関する講義をメインとして、これからの保険事業のあり方や方向性について考えていく内容です。

○三井住友海上女子柔道部

- ・「全日本選抜柔道体重別選手権大会」（5月11日～12日）

福岡県・福岡国際センターで開催された「全日本選抜柔道体重別選手権大会」に6名の選手が出場し、阿部香菜選手（63kg級）が優勝しました。また、大会後の全日本強化委員会で世界柔道選手権（8月26日～9月1日／ブラジル・リオデジャネイロ）の代表選手選考が行われ、阿部香菜選手が選出されました。

- ・「2013ワールドマスターズ・チュメニ」（5月25日～26日）

ロシア・チュメニで開催された「2013ワールドマスターズ・チュメニ」に阿部香菜選手（63kg級）が日本代表として初出場し、初優勝しました。

- ・「全日本実業柔道団体対抗大会」（6月15日）
岡山県総合グラウンド体育館で開催された「全日本実業柔道団体対抗大会」に三井住友海上女子柔道部が出場し、女子1部で7年ぶり5度目の優勝を果たしました。